

2022年5月20日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

東急コミュニティー技術研修センターNOTIA

第10回カーボンニュートラル賞 大賞を受賞

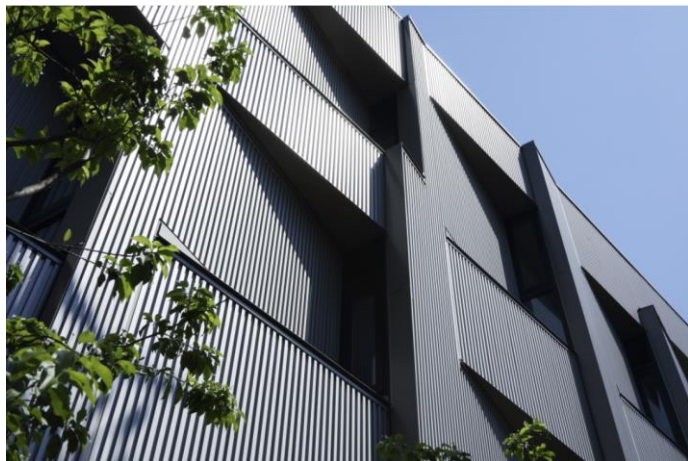
～先進的な建物への理解を深め、建物の資産価値向上に努める～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：木村 昌平）の自社研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA（ノティア 以下 NOTIA）」が一般社団法人建築設備技術者協会主催の第10回カーボンニュートラル賞で大賞を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

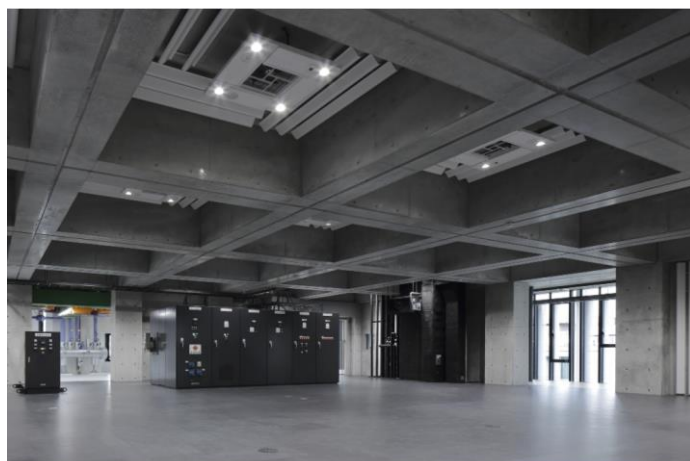
■ 東急コミュニティー技術研修センターNOTIA とは

NOTIA は、2019年5月に開業しました。「建物そのものが研修素材」をコンセプトとして、施設内には管理の現場と同じ環境で、見て、触って、学ぶための、社員・建物利用者へ建物への「気づき」を促す仕掛けを施しています。また、当施設は建物管理会社としての、顧客提案に向けた実証実験の場でもあります。社会の環境への関心の高まりに対応していくべく、NOTIAには最先端の省エネルギー技術を導入し、東京都内の事務所ビルで初めて、国土交通省が主導する建築物省エネルギー性表示制度（BELS）の「NealyZEB」を取得しました。

■ 導入設備一例



目黒川からの風を受け止める自然換気口



躯体蓄熱システムによる安定した温熱環境

■ カーボンニュートラル賞について

カーボンニュートラル賞は一般社団法人建築設備技術者協会により創設されました。本協会を含む建築関連17団体から2009年に提言された「建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050～カーボン・ニュートラル化を目指して～」では、低炭素社会実現に向けた目標を建築に関わるすべての人々と共有し、建築・都市のカーボンニュートラル化にともに取り組むことが謳われています。本表彰事業はカーボンニュートラル社会の実現に向けた建築物、建築設備に関わる優れた業績を表彰することで、その意識の浸透と推進活性化を図ることを目的としています。

■ NOTIA を省エネルギー実証実験の場とし、さらなる建物価値向上の提案を展開

当社は総合不動産管理会社として、豊富な経験と実績をもとに、お客様の建物の資産価値向上に向けた提案を積極的に行ってまいりました。

NOTIA は今後も全社的な省エネルギー推進、並びに NOTIA での省エネルギー施設運営を通じて、既存ビルのみならず先進的な建物への理解を深め、お客様の建物の資産価値向上に努めてまいります。



■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマとSDGsの取り組み

東急不動産ホールディングスグループは、2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した6つのテーマに取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

貢献するSDGs

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>